

石川県

体育授業優秀教員名 畑 成人 (はた しげと)

(満39歳 昭和55年1月15日生)

1 推薦の理由

平成19年に金沢市立大徳小学校に新規採用教員として赴任以来、石川県小学校体育研究会、金沢市小学校教育研究会体育部会に所属し体育科の研究に努めている。石川県小学校体育研究会では平成29、30年度と研究部長を務め、毎年12月に行われる公開研究会で問題提起を行い、県内外の実践者と意見交換を行いながら研究を深めている。金沢市小学校教育研究会体育部会において、令和元年度は代表運営委員を務め授業研究会等が円滑かつ効果的に運営されるよう尽力している。

上記2団体は毎年、公開研究会や研究授業を行う等、金沢市をはじめ本県の体育科教育を牽引してきた団体でもあり、その実践は本県学校体育の発展に大きく貢献し、後進の指導にも尽力していることから本表彰に推薦する。

2 被推薦者の「体育授業」の特徴、指導効果、その成果の汎用性、成果を証明する資料等

(1) 被推薦者の授業の特徴

畑教諭の授業では、運動の得意・不得意、好き・嫌い等の児童の特性に関わらず、すべての児童が運動の楽しさを味わいながら学び合う姿が顕著に見られる。主体的に自己を高めようとする児童の様子と仲間と様々な場面で関わり合っている授業は活気に溢れ、まさに心と体を一体として捉える体育授業といえる。

畑教諭はまず、児童の実態からその運動の魅力や楽しさを再解釈し、現時点の児童と運動との関係を捉え、そして学習成果としての新たな児童と運動との関係を設定し、学習を通してその関係を再構築していく授業設計を基本としている。その再構築の過程において、意欲や技能の向上のための教材・教具の工夫や自ら課題を選択・設定していく思考力の育成、コミュニケーション能力育成のための学習過程の工夫が明確であり、注目すべき点が多い。また結果としての運動技能の向上等の学習成果も明確である。

(2) その成果と汎用性

授業実践において保健学習を含め、領域の偏りがなく、若手教員が急増する本県においては若手の育成に大きく貢献している。学習過程、技術指

導、教具の工夫等、多岐にわたる体育授業における若手教員の課題に対して、授業設計のよりどころとなっている。平成28年から3年間研究主任を務めた現所属校は市内唯一の体育科の研究推進校であり、その実践は市内の体育授業の充実のための参考資料となっている。また、平成29年度30年度の2年間、研究部長を務めた石川県小学校体育研究会では本県において実践資料が多くなかった「体づくり運動」に取り組みその実践を県内に広めている。

新学習指導要領の理念を授業へ反映させる際の工夫や留意、意欲の低い児童への指導の工夫、目の前の児童の実態から創り上げていく授業設計の基本的考え方等は、体育科教育を専門とはしない若手教員にも幅広く取り入れられ本県体育科教育の基礎を培うために貢献している。

3 公的な大会・研修会等で発表した授業実践や講習会の講師を務めた講習内容等の概要

・平成29年

第44回石川県小学校体育研究大会問題提起

『運動のおもしろさを中心に捉えた体づくり運動～子どもたちが夢中になって取り組む「体ほぐしの運動」「体力を高める運動～」』

・平成30年

第45回石川県小学校体育研究大会問題提起

『運動のおもしろさを中心に捉えた体づくり運動～子どもたちが夢中になって取り組む「体の動きを高める運動」～』

第64回石川県学校体育研究会小松大会発表

『遊びの要素を取り入れた

体育授業について』

4 勤続年数 13年

5 職歴

平成19年 金沢市立 大徳小学校教諭

平成24年 金沢市立 大浦小学校教諭